

しなの川

題字 末武県女性連会長

第 55 号
2010年1月発行

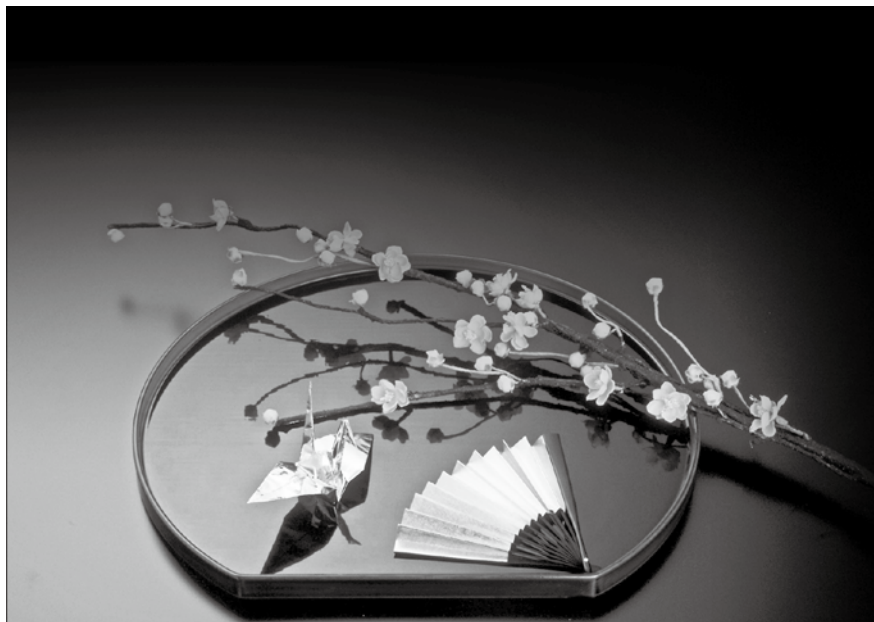
編集 新潟県商工会女性部連合会
発行 新潟県商工会連合会
新潟市中央区新光町7番地2
TEL 025 (283) 1311(代)
印刷 株式会社 ハイニングラフ

誓いの言葉

一、わたしたち商工会女性部は、女性の特性をいかし、地域振興発展のよき協力者であるとともに、推進者となります。

一、わたしたち商工会女性部は、商工女性の使命感に徹し、組織活性化の原動力となります。

一、わたしたち商工会女性部は、社会一般の福祉の増進に努め、豊かなまちづくりの担い手となります。



年頭のごあいさつ

新潟県商工会女性部連合会

会長 末武 栄子

新年明けましておめでとうございます。
新春を寿ぎ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は世界同時不況という大変厳しい経済状況の中、政権交代と言う歴史的なチェンジ、そして年末にかけ急激な円高、デフレ宣言等めまぐるしい年でございましたが、県女連の運営は皆様のあたためた協力によりすべての事業を計画通りに順調に終えることが出来ました。

さらに、トキめき新潟国体では、各地で女性部ならではの心のこもった「おもてなしの心」を十二分に発揮していただき、大会成功に大きく貢献することができたこと心から感謝申し上げます。

また、十一月十九日に、NHKホールで開催された第四十九回商工会全国大会で、全国の女性部を代表して大会決議を宣誓すると言う大変貴重な体験をすることができました。これも偏に副会長をはじめ、役員、会員の皆様が全女性連会長という私の立場をよくご理解してくださる、快く全女性連の活動に専念できるような日頃から協力していただけたからこそ心から感謝申し上げます。

さて、今年の干支は寅。直近の寅年一九九八年は、その前年秋に山一證券、北海道拓殖銀行等の証券・金融機関が破綻

し、世界恐慌が懸念され、その前の一九八六年の寅年は、急速な円高による、円高不況の真つ只中、そしてその前の寅年一九七四年は第一次オイルショックの翌年で「狂乱物価」、更には、その前の一九六二年は岩戸景気の反動で、大不況。どうやら寅年の日本経済は、景気が大荒れになると言うジンクスがあるようです。

歴史は、繰り返すと言います。商工会が栄えある創立五十周年を迎えるという二〇一〇年は前途多難な年明けになりそうです。虎の威を借りることなく、今まで以上に自分に厳しく、人には優しく！をモットーに与えられた職務に一生懸命励みたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

終わりに、平成二十二年が部員の皆様にとって充実した豊かな一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



第11回商工会女性部全国大会(岩手大会)開催される

去る九月十七日(木)～十八日(金)の二日間、岩手県「岩手県民会館」において、全国から約二千三百名が集まり、当県からは五十一名が参加し、『女性の笑顔が街の元氣！拓こう未来 創ろうイーハトーブ!』をスローガンに、『第11回商工会女性部全国大会(岩手大会)』が開催されました。

当県では、県外視察研修旅行として、九月十六日(水)に新潟を出発し、厳美溪、サハラガラスパークを視察し、岩手県へと移動しました。

大会は、岩手県出身の高橋佳代子さんの司会にて、氷口御祝保存会による「氷口御祝(すがぐちこいわい)」、春日流鍋倉鹿踊り(かすがりゆうなべくらしおどり)によるオープニングセレモニーが開催され、開会のことばを及川岩手県女性連会長が行い、大会旗の入場により、大会が開催されました。



国歌斉唱、商工会女性部の歌の斉唱、誓いのことばの唱和の後、大会会長である末武全女性連会長のあいさつが行われました。その後、松村参議院議員、安井中小企業庁経営支援部長、宮舘岩手県副知事、佐々木岩手県議会議長から来賓祝辞、石澤全国連会長、千葉岩手県連会長のあいさつが行われました。



主張発表大会では、全国六ブロックを勝ち進んできた六名の代表により発表が行われました。いずれの発表者も各ブロックの予選を勝ち進んできたので、素晴らしい内容と発表態度でした。厳正なる審査の結果、最優秀賞は、〃皆既日食〃という非常に珍しい現象を観光イベントとして着目し、女性部が結集して地域を盛り上げたといった内容を発表された、九州ブロック代表の豊島 代子さん(鹿児島県 喜界町商工会女性部)の「女性部活動と地域振興・まちづくり」地域の人と共に歩み、共に生きる」が選ばれました。

その後、作家の幸田 真音氏を講師に「信じること、楽しむこと」～女性の感性で地域に新たな輝きを」と題して基調講演会が行われました。

主な内容は以下のとおりです。

「仕事を通して、何事にも、楽しむ」という気持ちが大仕事である、ということを知りました。世界の経済は、女性の消費力にかかっています。〃女性〃という個性を武器に、〃女性〃という個性を活かし、地域はもちろんのこと、国、世界の経済を良くして欲しい。また、自分の持っている武器は何か、冷静に自分を見つめ、考え、もともと自分を輝かせて欲しい。『運』は天から降ってくるが、『縁』は自分で育むもの。今後も楽しんで女性部活動を行い、女性の感性で、自分はもちろんのこと、さらに地域を輝かせてください。」と述べられ、講演を終りました。



続いて、主張発表大会の表彰式、全国商工会女性部連合会の実施した事業で、優秀な成績を収めた都道府県女性連等に対して、表彰が行われました。新潟県商工会女性部連合会は、「女性部員増強運動「年間実績表彰」都道府県商工会女性部連合会の部」第四位に輝き、表彰されました。

その後、大会引継ぎセレモニーが行われ、東北・北海道ブロックから次回開催ブロックの関東ブロックに大会旗が引き継がれました。次回開催県の茨城県女性連の桜井会長からPRが行われた後、閉会宣言され大会が終了しました。

大会開催中、全女性連の実施する「ふるさと小包グランプリ」事業の二次審査が会場入口にて行われました。一次審



査を通過した二十種類の小包が展示され、新潟県からは湯沢町商工会女性部の「越後魚沼こだわりの逸品」と題した小包が展示されました。各都道府県から五票及び審査員による投票が行われ、審査の結果、得票数の多かった上位

五点は以下のとおりです。

○宮城県角田市商工会女性部

「角田発『大地の恵み』めしあがれ！」

○栃木県矢板市商工会女性部

「りんごの詰め合わせ」

○山口県大和商工会女性部

「まあ食べてみんさい！ひとみイキイキ☆ブルーベリーの贈り物」

○佐賀県三神地区商工会女性部

「古代の宴」

○長崎県南島原市商工会女性部

「うまかもん」

また同じく会場には、岩手県内の特産品コーナー、東北各県の物産コーナーが多数設置され、多くの参加者で賑わいました。

続いて、会場を「盛岡グランドホテル」



に移し、交流会が開催されました。弦楽合奏団バディヌリによる演奏、佐比内金山太鼓（さひないきんさんだいこ）、盛岡さんさ踊りのアトラクションが行われ、和やかな雰囲気の中、各都道府県女性連の参加者の方々と女性部活動等について情報交換を行い、交流を深めました。



翌日九月十八日は、中尊寺を見学した後、岩手県女性連の移動分科会に部分参加し、平泉レストハウスにて、「世界遺産登録への取り組みについて」をテーマに、平泉商工会の千葉会長より研修を受けました。平泉でも、観光客数の減少、周辺市町村への大型店の進出等多くの問題を抱えていました。そこで、中心市街地商業活性化基本計画を策定しました。平泉の文化遺産が暫定リストに登録され、その登録に向け、英語や中国語、韓国語のガイド養成講座を開催し、ひらいずみ通訳ガイドの会を設立しました。その他、世界遺産登録への取り組みについて、講演が行われました。

以上、全日程を終了いたしました。ご参加いただきました皆様、大変ありがとうございました。



栄ある受賞 ～優良商工会女性部～

去る11月19日（木）東京都渋谷区のNHKホールにおいて、開催された第49回商工会全国大会にて、功労者等の表彰が行われました。当県女性部からは優良商工会女性部として、塩沢商工会女性部が中小企業庁長官表彰を、また、分水商工会女性部及び刈羽村商工会女性部が全国商工会連合会長表彰を受賞されました。

受賞にあたり、喜びの声をお伺いしましたので掲載いたします。益々のご活躍並びにご発展をお祈りします。

中 小 企 業 庁 長 官 表 彰



塩沢商工会
女性部長
田村由紀子

ほんの数ヶ月前に部員増強運動優良表彰をいただき、部員ともども大変喜んでおりました矢先に、思いもよらぬ中小企業庁長官表彰をいただいたことは、大変嬉しく感激しております。

活動内容としては、春の花いっぱい運動から始まり、勉強会を兼ねた忘年会まで、様々な活動を行っています。ひな雪見飾り、塩沢紬飾り、町内マラソン大会、新米キャンペーンなど、地域活性化関連事業への協力も多くなってきました。

旧三国街道（牧之通り）の改修も終わり、装いも新たなステキな町並みになり、町中を散策している姿も見受けられるようになってきています。

塩沢全体が活気に満ちた魅力ある町に、部員の皆さんには女性部独自の活動以外にもいろいろなことに積極的に参加し、無理をしない、和を大切にする女性部活動を続けていけたらと思います。ありがとうございました。



分水商工会
女性部長
和田 昌子

この度、優良商工会女性部として全国商工会連合会長表彰を受賞することができましたこと、大変光栄に思うとともに感謝いたします。

また、先日開催されました、女性部全国大会岩手大会に於いては、新潟県を代表し壇上に登壇させていただきましたことは、何事にも変えられない経験として、今でもその時のことは鮮明に覚えております。あらためて、女性部員の皆様一人一人のご理解とご協力、事務局の励まし、そして諸先輩方の歴史の積み重ねの賜物であり、多くの方々のご支援とご努力が結合った結晶であると深く感謝申し上げます。

長引く不況の中で、地域経済は疲弊し商工業者を取り巻く環境は非常に厳しい状況ですが、私達女性が沈んでいては暗くなるばかりです。

家庭や事業所が明るくなるよう振る舞うとともに、商工会女性部として地域に何かしらのお役に立てるよう、部員の皆様と話し合い協力しながら、微力ながら地域の振興、商工業の活性化に寄与できればと思っております。



刈羽村商工会
女性部長
松野ミツ子

この度、私も刈羽村商工会女性部が、優良女性部として表彰されたという思いもかけない出来事に、驚きと共に大変感激いたしました。女性部活動には、若い部員が積極的に参加してくれ、部長の私には、とても心強く、頼もしく思っております。

女性部員自身が、母であり、妻であり、一家の主婦経営者であることから、一人で何役も引き受け、その上、女性部活動に参加するということは、大変なことだと思います。しかしながら、それをおして参加することで得るものもキット、たくさんあることと思います。これから先輩部員の方々が積み重ねてきた種々の活動を絶やすことなく、若い部員の方々のアイディア等も組み入れながら、時代の流れに乗り、その時代にあった女性部活動を末永く続けていきたいと思っております。

全女性連末武会長の、あの素晴らしいパワーを少しでもいただきながら、優良商工会女性部の名にふさわしい活動ができるように、刈羽村商工会女性部一同、これからも頑張っていきたいと思っております。